

全国産業資源循環連合会 青年部協議会

第13回カンファレンス in 鳥取

- 日 時：令和6年2月8日（木）午後3時
- 開催地：米子コンベンションセンター
1F 多目的ホール
(鳥取県米子市末広町 294)
- 参加者：182名

カンファレンステーマ

集え47の志士達 ～皆の力を集結し、次代を切り開け～

今年度のテーマは「集え47の志士達～皆の力を集結し、次代を切り開け～」です。

参加する地域のリーダー一人ひとりの得意なことや能力・知恵を集結させて変化の激しい私達業界の未来を切り開いていく行動を行うための議論の場を設けます。皆様の自負と自信を青年部協議会の力として下さい。

開会の挨拶で（公社）全国産業資源循環連合会会長 永井良一氏は「現在、国においては第四次循環型社会形成推進基本計画の見直しが行われ、動静脈産業連携と脱炭素がキーワードとなっております。（中略）このように産廃業界を取り巻く環境は大きく変化しようとしておりますが、引き続きエッセンシャルワーカーとしての役割を果たし産廃業界が期待される責務を果たしてまいりたいと思っております。そのためには青年部協議会の柔軟な発想と行動力が欠かせません。産廃業界の活性化を担うのは間違いなく青年部の皆様です。今後の活動に期待しています。」と述べました。



意見交換会の様子



挨拶を述べる全産連永井会長

【第1部】全産連青年部協議会、委員会活動報告及び意見交換

各委員会より2年間の活動報告があり、各都道府県部会長及び各青年部会員から意見を聞きました。

次年度が更に効果的な活動ができるように要望をまとめ、事業計画に反映していただきます。

【第2部】設立30周年に向けて私たちが成すべきこと

47都道府県青年部会の中心である部会長にスポットを当て、熱量を持った議論を交わし、30周年に向けて躍動する魅力的な青年部会に成長することを願い、継続的な人材育成に向けた議論を行いました。

懇親会はANAクラウンプラザホテル米子 2F 大宴会場「飛鳥」で開催されました。



参加された中部ブロックの皆様